(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第3686351号

(P3686351)

(45)発行日　平成17年8月24日(2005.8.24)　(24)登録日　平成17年6月10日(2005.6.10)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
G09F 3/00	G09F	3/00	D
B42D 15/00	G09F	3/00	P
G09F 3/02	B42D	15/00	371
	G09F	3/02	C
	G09F	3/02	Q

請求項の数 3　(全 8 頁)

(21)出願番号　特願2001-131908(P2001-131908)
(22)出願日　平成13年4月27日(2001.4.27)
(65)公開番号　特開2002-328609(P2002-328609A)
(43)公開日　平成14年11月15日(2002.11.15)
審査請求日　平成14年12月27日(2002.12.27)

(73)特許権者　000186566
小林記録紙株式会社
愛知県刈谷市小垣江町北高根１１５番地
(73)特許権者　000102728
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
東京都江東区豊洲三丁目３番３号
(74)代理人　100084043
弁理士　松浦　喜多男
(72)発明者　宮脇　信次
愛知県刈谷市小垣江町北高根１１５番地
小林記録紙株式会社内
(72)発明者　藤林　城司
愛知県刈谷市小垣江町北高根１１５番地
小林記録紙株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ラベル帳票

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

剥離剤層を備えた第一担持面と、剥離剤層を備えた第二担持面とを、台紙を横断するように形成した谷折り可能な第一折り線を介して連成するとともに、第二担持面の所定位置に前記第一折り線と平行する山折り可能な第二折り線を形成して、該第二折り線と第一折り線間に位置する部分を折込み片部とし、第一担持面に、裏面に粘着剤層を備えた透明ラベル片を剥離可能に仮着する一方、第二担持面に、前記透明ラベル片と中心位置が幅方向で一致し、かつ第二折り線を跨ぐようにして、裏面に粘着剤層を備えた不透明ラベル片を剥離可能に仮着してなり、該不透明ラベル片は、台紙を第一折り線で谷折りにし、第二折り線で山折りにしてＺ状に折り畳むことにより前記透明ラベル片上に積層されるものであることを特徴とするラベル帳票。

【請求項２】

第一折り線から、透明ラベル片上に積層された状態における不透明ラベル片の前端までの距離をＬ1とし、第一折り線から第二折り線までの距離をＬ2とし、第二折り線から、第二担持面に仮着された不透明ラベル片の前端までの距離をＬ3とすると、

Ｌ1　Ｌ2＋Ｌ3

の関係を満たすことを特徴とする請求項１に記載したラベル帳票。

【請求項３】

第一担持面に仮着される透明ラベル片に予め地紋を印刷形成したことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載したラベル帳票。

【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、ラミネートラベルを容易に作成し得るラベル帳票に関する。
【０００２】
【従来の技術】
透明ラベル片の表面に所要情報を裏向き表示し、その情報表示面に不透明ラベル片を積層してなり、透明ラベル片の裏面に形成した粘着剤層を介して透明なウインドウガラス等の内側に貼着することにより、該ウインドウガラス等の外側から所要情報を視認し得るようにしたラミネートラベルが知られている。ここで、透明ラベル片に積層される不透明ラベル片は、透明ラベル片の情報表示面を保護し、かつ、その表示情報の改ざんを防止するとともに、ウインドウガラス等の外側から所要情報を目視した場合において、裏面側への光の透過を遮断して、該所要情報の視認性を高める作用を生じるものであり、また、該不透明ラベル片の表面には、必要に応じて透明ラベル片に表示される情報と同一内容の情報や注意文等の異なる情報が表示される。
【０００３】
かかるラミネートラベルは、例えば、監督官庁が許可制の業務を行う企業に対して発行する営業許可証や、大学或いは企業等が構内への乗り入れを許可した車両の使用者に対して発行する入校許可証，駐車許可証，入場許可証等として使用されている。
【０００４】
従来、このようなラミネートラベルの作成には、透明ラベル片及び不透明ラベル片に表示される所要情報を印刷するための専用のラベル印刷機と、該ラベル印刷機による印刷済みの両ラベル片の積層加工，及びその他の所要加工を行う専用のラミネート加工機とが使用されていた。
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
ところで、従来のラミネートラベルの作成には、上述したように専用機としてのラベル印刷機及びラミネート加工機を必要とするが、このような専用機は高価であるため、作成するラミネートラベルが少量である場合にはコスト面で導入が困難であり、また、ラベル印刷機及びラミネート加工機の設置には比較的広いスペースが必要であるため、その設置スペースがない場所では導入することができないという問題点があった。
【０００６】
また、貼着した状態でウインドウガラス等の外側から視認されることとなる所要情報は、不透明ラベル片が積層される透明ラベル片の表面側に印刷されるため、店名，許可番号，車両ナンバー等の個別的な可変情報が簡単に表示できないという問題点があった。
【０００７】
本発明は、高価な専用機を必要とせず、個別的な可変情報の表示が簡単で、ラミネートラベルを容易に作成し得るラベル帳票を提供することを目的とするものである。
【０００８】
【課題を解決するための手段】
本発明は、剥離剤層を備えた第一担持面と、剥離剤層を備えた第二担持面とを、台紙を横断するように形成した谷折り可能な第一折り線を介して連成するとともに、第二担持面の所定位置に前記第一折り線と平行する山折り可能な第二折り線を形成して、該第二折り線と第一折り線間に位置する部分を折込み片部とし、第一担持面に、裏面に粘着剤層を備えた透明ラベル片を剥離可能に仮着する一方、第二担持面に、前記透明ラベル片と中心位置が幅方向で一致し、かつ第二折り線を跨ぐようにして、裏面に粘着剤層を備えた不透明ラベル片を剥離可能に仮着してなり、該不透明ラベル片は、台紙を第一折り線で谷折りにし、第二折り線で山折りにしてＺ状に折り畳むことにより前記透明ラベル片上に積層されるものであることを特徴とするラベル帳票である。
【０００９】

かかる構成にあって、透明ラベル片の表面に、コンピュータで出力制御されるプリンタによって所要情報を裏向きに印字し、かつ必要に応じて、不透明ラベル片の表面にも所要情報を印字した後、折込み片部から不透明ラベル片の前端部分を剥離するとともに、台紙を第一折り線で谷折りにし、第二折り線で山折りにしてＺ状に折り畳むことにより、折込み片部から剥離した不透明ラベル片の前端部分が前方に延出することとなる。そして、この状態で、不透明ラベル片の前端部分を透明ラベル片の前端部分に積層し、次いで不透明ラベル片の残りの部分を第二担持面から剥離して透明ラベル片に積層することにより、ラミネートラベルを手作業で簡単に作成することができる。

【００１０】

また、上記構成にあって、第一折り線から、透明ラベル片上に積層された状態における不透明ラベル片の前端までの距離をＬ1とし、第一折り線から第二折り線までの距離をＬ2とし、第二折り線から、第二担持面に仮着された不透明ラベル片の前端までの距離をＬ3とすると、Ｌ1　Ｌ2＋Ｌ3の関係を満たすようにする構成が提案される。これにより、台紙をＺ状に折り畳んだ状態において、不透明ラベル片の前端部分と、透明ラベル片の前端部分との位置合わせを簡単に行うことができ、位置ずれや皺を生じることなく、不透明ラベル片を積層することが可能となる。

【００１１】

また、第一担持面に仮着される透明ラベル片に予め地紋を印刷形成するようにしてもよい。ここで、該地紋は、透明ラベル片に印字される所要情報の視認性を阻害しない程度の色及び濃度とすることが望ましい。このように、透明ラベル片に予め地紋を印刷形成しておくことにより、ラミネートラベルの偽造を困難とし、その美観を向上させることができる。

【００１２】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかるラベル帳票１の一実施例を、図１，図２について説明する。

【００１３】

ラベル帳票１の台紙２は矩形状に形成されており、該台紙２はその表面にシリコンを塗布してなる剥離剤層３を備えている。ここで、該剥離剤層３は、図２に示すように、台紙２の全面に形成してもよいし、或いは後述する透明ラベル片１０及び不透明ラベル片１３の仮着部分にのみ形成するようにしてもよい。また、台紙２の素材には、適宜の耐屈撓性を有する上質紙，合成紙等が用いられる。

【００１４】

台紙２には、長手方向を略二等分する位置に、該台紙２を横断するようにして谷折り可能な第一折り線４が形成されており、該第一折り線４を介して第一担持面５と、第二担持面６が連成されている。また、第二担持面６の所定位置には、前記第一折り線４と平行する山折り可能な第二折り線７が形成されており、該第二折り線７と前記第一折り線４間に位置する部分を折込み片部８としている。前記第一折り線４及び第二折り線７は、ミシン目や、加圧加工により形成した線状の凹溝、或いは紙厚を切断しないハーフカット線等からなり、後述するように両折り線４，７で台紙２をＺ状に折り畳む時に、その折り畳み作業を容易に行い得るようになっている。

【００１５】

前記第一担持面５の略中央位置には、裏面に粘着剤層９を備えた矩形状の透明ラベル片１０が剥離可能に仮着されている。該透明ラベル片１０の素材には、ＰＥＴ等の透明な合成樹脂フィルムが好適に用いられ得る。尚、該透明ラベル片１０は、無色透明なもの以外に、材質を通して裏面側が透視可能であれば半透明であってもよい。また、該透明ラベル片１０に予め地紋１１を印刷形成しておいてもよい。該地紋１１は、後述するように透明ラベル片１０にプリンタで印字される所要情報１５（図３参照）の視認性を阻害しない程度の色及び濃度とすることが望ましく、また、その印刷態様として網点印刷が好ましい。このように、透明ラベル片１０に予め地紋１１を印刷形成しておくことにより、ラミネートラベルの偽造を困難とし、その美観を向上させることができる。

【００１６】
一方、前記第二担持面６には、裏面に粘着剤層１２を備えた矩形状の不透明ラベル片１３が剥離可能に仮着されている。該不透明ラベル片１３は、前記透明ラベル片１０と略同じ大きさに形成されており、該透明ラベル片１０と幅方向で一致する位置に、第二折り線７を跨ぐ状態で仮着される。ここで、図１に示すように、第一折り線４から、透明ラベル片１０上に積層された状態における不透明ラベル片１３（同図に想像線で示す）の前端までの距離をＬ1とし、第一折り線４から第二折り線７までの距離をＬ2とし、第二折り線７から、第二担持面６に仮着された不透明ラベル片１３の前端までの距離をＬ3とすると、
Ｌ1　Ｌ2＋Ｌ3
の関係を満たすようにすることが望ましい。

【００１７】
また、第一折り線４から、透明ラベル片１０上に積層された状態における不透明ラベル片１３の前端までの距離をＬ1とし、第一折り線４から、第二担持面６に仮着された不透明ラベル片１３の前端までの距離をＬ4とすると、第二担持面６に形成される第二折り線７の第一折り線４からの距離Ｌ2は、
Ｌ2　（Ｌ1＋Ｌ4）／２
の関係となるようにすることが望ましい。

【００１８】
前記不透明ラベル片１３には、上質紙系の不透明なラベルが用いられ、これには、熱転写ラベル，合成紙ラベル，コート紙ラベル等が挙げられる。該不透明ラベル片１３の色は、透明ラベル片１０にプリンタで印字される所要情報１５の視認性を高めるためになるべく白色系とすることが望ましい。該不透明ラベル片１３の表面には、図１に示すように、ラミネートラベルの使用上の注意事項等の情報１４を予め印刷形成しておいてもよい。また、該情報１４の印刷に代えて、透明ラベル片１０への所要情報１５の印字時に該情報１４を同時に印字してもよく、さらに、該情報１４の事前印刷時に空白の印字領域を設定し、該印字領域に対して透明ラベル片１０への所要情報１５の印字時に情報１４以外の情報を印字するようにしてもよい。この場合には、情報１４に加えて個別的な可変情報の表示が可能となる。また、不透明ラベル片１３の表面の全域を空白の印字領域とし、該印字領域に対して透明ラベル片１０に印字される所要情報１５と同一内容の情報を印字するようにしてもよい。

【００１９】
次に、かかる構成からなるラベル帳票１を用いたラミネートラベルの作成方法について説明する。ラベル帳票１は、上述した形態で公官庁，大学或いは企業等に納品される。そして、該ラベル帳票１の透明ラベル片１０に、パソコン等のコンピュータで出力制御されるプリンタを用いて、図３に示すように、営業許可証，入校許可証，駐車許可証，入場許可証等としての所要情報１５を裏向きに印字する。また、必要に応じて不透明ラベル片１３の表面にも印字を表向きで施してもよい。ここで、印字に使用するプリンタは、現在普及しているレーザープリンタ，インクジェットプリンタ等のノンインパクトプリンタや、熱転写プリンタ或いはワイヤドットプリンタ等のプリンタが使用可能である。

【００２０】
上記のように透明ラベル片１０及び不透明ラベル片１３にプリンタで印字を施した後、図４に示すように、折込み片部８から不透明ラベル片１３の前端部分を剥離するとともに、台紙２を第一折り線４で谷折りにし、第二折り線７で山折りにしてＺ状に折り畳むことにより、折込み片部８から剥離した不透明ラベル片１３の前端部分が前方に延出することとなる。そして、この状態で、不透明ラベル片１３の前端部分を透明ラベル片１０の前端部分に裏面の粘着剤層１２の接着力を介して積層し、次いで不透明ラベル片１３の残りの部分を第二担持面６から剥離して、粘着剤層１２の接着力を介して透明ラベル片１０に積層することにより、図５に示すラミネートラベルＡが作成される。

【００２１】
ここで、上述したＬ1　Ｌ2＋Ｌ3の関係を満たすようにラベル帳票１を構成しておくこと

により、台紙２をＺ状に折り畳んだ状態において、不透明ラベル片１３の前端部分と、透明ラベル片１０の前端部分との位置合わせを簡単に行うことができ、位置ずれや皺を生じることなく、不透明ラベル片１３を積層することができる。

【００２２】

上記のように作成されたラミネートラベルＡは、第一担持面５の剥離剤層３上に粘着剤層９を介して剥離可能に仮着された状態であるため、該第一担持面５から簡単に剥離することができる。そして、該ラミネートラベルＡを第一担持面５から剥離して粘着剤層９を介して透明なウインドウガラス等の内側に貼着することにより、図６に示すように、ウインドウガラス等の外側から所要情報１５を視認し得るものとなる。

【００２３】

尚、上記実施例では、透明ラベル片１０及び不透明ラベル片１３を矩形状としたが、該透明ラベル片１０及び不透明ラベル片１３は、円形，楕円形，多角形その他の任意の形状とすることができる。

【００２４】

【発明の効果】

上述したように、本発明によれば、コンピュータで出力制御されるプリンタによって所要情報を印字することができ、台紙をＺ状に折り畳むことによって、不透明ラベル片の透明ラベル片に対する積層操作を簡単に行い得るので、従来のように、高価な専用機を必要とせず、個別的な可変情報の表示が簡単で、ラミネートラベルを手作業で容易に作成し得る優れた効果がある。

【００２５】

また、第一折り線から、透明ラベル片上に積層された状態における不透明ラベル片の前端までの距離をＬ1とし、第一折り線から第二折り線までの距離をＬ2とし、第二折り線から、第二担持面に仮着された不透明ラベル片の前端までの距離をＬ3とすると、Ｌ1　Ｌ2＋Ｌ3の関係を満たすように構成することにより、台紙をＺ状に折り畳んだ状態において、不透明ラベル片の前端部分と、透明ラベル片の前端部分との位置合わせを簡単に行うことができ、位置ずれや皺を生じることなく、不透明ラベル片を積層することが可能となる。

【００２６】

さらに、第一担持面に仮着される透明ラベル片に予め地紋を印刷形成しておくことにより、ラミネートラベルの偽造を困難とし、その美観を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明にかかるラベル帳票の平面図である。

【図２】同上のラベル帳票の縦断側面図である。

【図３】透明ラベル片に印字を施した状態を示すラベル帳票の平面図である。

【図４】積層操作状態を示すラベル帳票の概略側面図である。

【図５】完成したラミネートラベルの縦断側面図である。

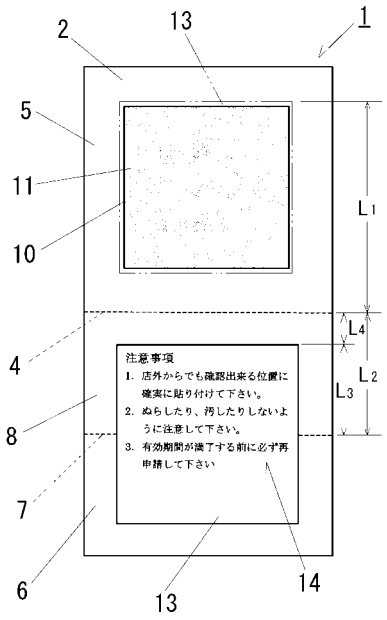
【図６】ウインドウガラス等の内側に貼着されたラミネートラベルを外側から目視した状態を示す参考図である。

【符号の説明】

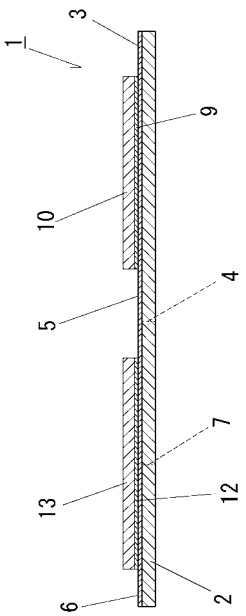
１　ラベル帳票
２　台紙
３　剥離剤層
４　第一折り線
５　第一担持面
６　第二担持面
７　第二折り線
８　折込み片部
９　粘着剤層
１０　透明ラベル片
１１　地紋

１２　粘着剤層
１３　不透明ラベル片
Ａ　ラミネートラベル

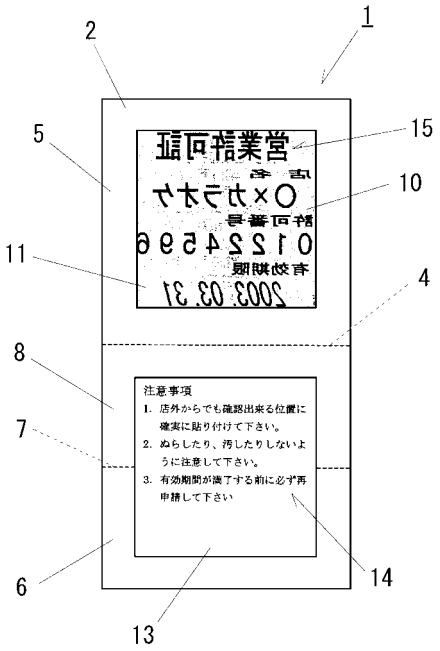
【図１】



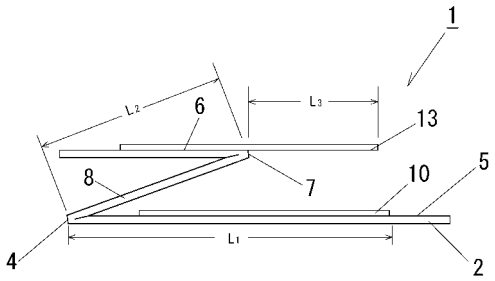
【図２】



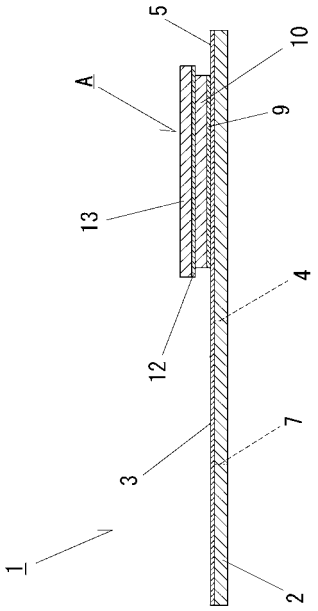
【図３】


1
2
5
15
10
11
4
8
7
6
13
14
営業許可証
店名
○×カラオケ
許可番号
01224596
有効期限
2003.03.31
注意事項
1. 店外からでも確認出来る位置に確実に貼り付けて下さい。
2. ぬらしたり、汚したりしないように注意して下さい。
3. 有効期間が満了する前に必ず再申請して下さい

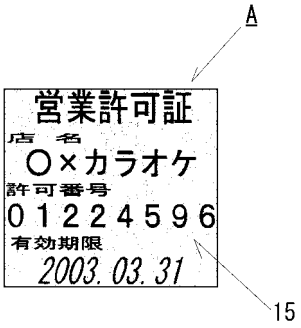
【図４】


1
L2
L3
6
13
8
7
10
5
4
L1
2

【図５】


5
10
A
9
13
4
12
7
3
1
2

【図６】


A
営業許可証
店名
○×カラオケ
許可番号
01224596
有効期限
2003.03.31
15

フロントページの続き

審査官　櫻井　茂樹

(56)参考文献　実開昭５８－１１３０７３（ＪＰ，Ｕ）
特開平０７－２９５４７７（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
G09F1/00～5/04
B42D1/00～19/00